

令和5年度 学校評価
自己評価及び学校関係者評価

学校名	坂戸市立桜中学校
実施日	令和6年2月8日

○「自己評価」及び「学校関係者評価委員会評価」の欄には、A～Dを記入してください。

評価 A:よくできている B:概ねできている C:あまりできていない D:できていない

○「自己評価についての評価の説明及び学校の考え」の欄には、理由及び自己評価の結果をどのように受け止めているかを記入ください。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	学校関係者評価委員会の説明
組織・運営	1	学校は、特色ある学校づくりを目指し、組織的・計画的に取り組んでいる。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○校長が特色ある学校づくりを目指して経営ビジョンを明確化し、職員及び保護者に示した。 ○学校だよりを保護者及び地域に配布し、学校の教育活動を地域の方々に知っていただいていることは評価できる。 ○校内研修のテーマをしっかりと定めることが必要であり、「GIGA関係の研修」「特別支援関係研修」等実施していく。 ○「学びづくり研修」を講師を招いて、計画的に実施していく。 ○行事予定を早めに決定し、先をみて組織として動ける体制を整える。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども達が楽しく授業を受けられていることが最高の環境だと思います。現在はその事が実現されているので、これからも継続して欲しいと思います。 ○校長はあらゆる機会を利用して、学校の経営ビジョンを明確に示しているようだ。 ○校長が特色ある学校づくりを目指し、経営ビジョンを職員及び保護者に明示していることが評価できる。 ○学校だよりから、特色ある学校づくりを目指し、取り組んでいる様子がうかがえる。
	2	学校は、災害、事故やトラブルに対して、組織的に迅速に対応している。	A	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的に避難訓練を実施することはできた。 ○自然災害の訓練だけでなく、不審者対応の研修等を入れていく必要がある。 ○災害時による教員のマニュアルは作成され、各教員に配布されているが、それを確認し、すぐに動ける組織体制を構築していく。 ○AEDの研修を入れていく。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な場面を想定し、避難訓練を計画的に実施している。そして、災害時などにも適切に対応できるよう研修をしている。 ○定期的な避難訓練を実施していることが評価できる。 ○昨今、いろいろな所で地震等の災害が起こってしまっているため、万が一に対しての対応をお考えいただくことを心よりお願いいたします。 ○避難訓練を計画的に実施している。
	3	学校は、働き方改革を意識して、職員の勤務体制の改善を図っている。(市共通項目)	C	<ul style="list-style-type: none"> ○ノー残業デーは示されていたが、実際は機能していなかった。 ○月2回の全員退勤日を設定し、19:00退勤を目指し、夏場は20:00までに、冬場は19:00までに全員退勤する。 ○卒業式当日及び前日の部活動はなしとする等、業務が重ならないように日程を調整していく。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○働き方改革は意識するが、なかなか難しいこともありそうだ。 ○月2回の全員退勤日の設定を評価する。 ○中学は高校受験があり、自然と残業に結びついてしまうので、働き方改革を進めるのであれば、教員の補充要員が必要。 ○世の中では、働き方改革を意識し、改善がなされている企業が多い中、まだまだ先生方のご負担は大きく、生徒達、学校のためにたくさん努力をしてくださる分、残業はほとんど改善されていないのが現実のようで、大変頭が下がる思いであります。少しでも、改善につながるようでしたらと願ひ、評価させていただきました。 ○なかなか行うことは難しく、忙しさは軽減されていない。
	4	教員は、学力向上に向け、主体的・対話的で深い学びのある授業をしている。(市共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> ○多くの教員が「主体的・対話的で深い学び」を意識して授業を行っていることは評価できる。 ○授業の中で、知識・技能を活用する学習の充実が図られている。 ○今後、研究授業の視点をはっきりとさせ、研究授業を行っていく。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○教員一人ひとり、生徒の学力等の向上をめざし、日々研修を積み重ねている様子がうかがえる。 ○多くの教員が「主体的・対話的で深い学び」を意識して授業を行っていることが評価できる。 ○授業参観では、子ども達が発想と発言・発表をしやすい状態で、先生方が指導されているのがよくわかります。 ○授業を拝見させていただき、生徒たちがのびのびとまた生き生きと授業に臨んでいることが良く伝わり、先生方のご努力の賜物と感謝申し上げます。生徒達の自主性、他の生徒の意見を聞く力等、とても素晴らしい授業をしていただき、今後もこのような素晴らしい授業を続けていっていただければ幸いです。お願い申し上げます。 ○子どもの主体的な意見や学びが引き出せるような授業を図っている。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	学校関係者評価委員会の説明
教育課程・学習	5	教員は、豊かな心を育む授業の充実を図っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○朝鑑賞は担任だけでなく、主任、副担任の教員も含めて負担なくローテーションで指導を行うことができた。 ○道徳の授業を担任だけでなく、学年職員全員で指導を行い、生徒は多くの教員から指導を受けることができた。 ○2学年の校外学習と修学旅行が同じ学期にあったため、指導に余裕がなかった。豊かな心を育む授業を実践するためには、行事を実施する時期の検討が必要である。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳の授業は担任のみでなく、学年職員全員で指導をしているようであるが、その際、情報の共有が欠かせないと考えられる。 ○担任だけでなく、学年職員全員で指導していることが評価できる。 ○道徳の授業参観をしたのですが、子ども達の発表を間違っているとかの評価をせず、自由に発言させて、全員で考えるやり方がいいと思いました。 ○豊かな心を育むような授業を展開しているだろうと、生徒たちの様子を見てそれがうかがえる。
	6	児童生徒は、落ち着いた態度で生活し、授業に取り組んでいる。(市共通項目)	C	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉遣いは学年が上がるにしたがって、徐々に改善されているようである。また、本校は進んで挨拶する教員が多く、生徒の良い見本となっている。 ○提出物の期限を守れないことが課題として挙げられる。保護者が記入するものはマメール等を利用して家庭の協力を仰ぐ。生徒の宿題は教科担当が根気強く指導を行っていき、自ら提出できる能力・態度を育てていく。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○授業を参観した限りでは、非常に落ち着いた態度で、積極的に授業に参加できていると思われる。 ○言葉づかい及びあいさつのなど徐々に改善されていることが評価できる。 ○生徒は、いつ訪問しても会うと必ずあいさつをしてくれます。話しかけると応えてくれます。 ○会議の中で「評価C」としたのは、生徒の提出物に関するものがしっかりなされていないためのお話がありましたが、授業を拝見させていただいた様子、生徒たちの進んであいさつできる、言葉遣いがしっかりとされている等、他の評価は全て良いので、Aとさせていただきます。 ○クラスごとにそれぞれ個性があるが、挨拶もあり、丁寧な言葉や対応がとれている。
資質の向上	7	学校は、体罰や交通事故等の教職員事故や不祥事根絶のため積極的に取り組んでいる。(市共通項目)	A	<ul style="list-style-type: none"> ○倫理確立委員会ニュースは配布されており、教職員の意識の向上を図ることができている。 ○教職員全員が「不祥事防止チェックリスト」を実施することにより、自らを見つめる機会となっている。 ○企画委員会の中で倫理確立委員会が行われており、教員の情報の共有ができている。 ○現在の取組を次年度も継続していく。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○倫理確立委員会は適切に実施され、不祥事根絶のための研修等も実施されている。 ○教職員全員が不祥事防止チェックリストを実施していることが評価できる。 ○部活動等の練習・試合で自転車で移動する場合など、交通ルールを守って移動している様子を見かけます。先生方の指導があつてのことだと思います。 ○風と通しのよい職場の雰囲気を感じられる。
	8	本校の教員は、児童生徒一人一人を認め大切にすることを大切にしている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○教育相談週間(二者面談、三者面談)において時間を十分にとり行うことができた。 ○欠席の多い生徒に対して担任、学年職員、さわやか相談員が連携し対応することができた。 ○生徒が毎日書いている「デイリーライフ等」をその日のうちに担任が見てコメントを書き、生徒一人一人との関係を築く取り組みを行っている。 ○今後UDフォントを導入する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○不登校児童生徒への支援方針が評価できる。 ○先生方が生徒達に接しているところを見せていただいたことがありますが、とても温かい優しい言葉遣いをされていて、明るいとても良い雰囲気であることがよく伝わりました。今後も今まで同様、温かい環境で生徒達へのご指導をお願い申し上げます。 ○生徒個々に合わせた柔軟な対応がとられている。
学習環境	9	学校は、特別支援教育体制の充実を図っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援学級に所属している生徒一人一人の支援計画を作成している。行事や授業において、通常級・支援級で寛大であることが評価できる。 ○坂戸ろう学校との交流など、様々な活動を実践している。 ○ユニバーサルデザインに基づく教室掲示を年度当初に確認し、全クラスで継続していくことが重要である。 ○次年度は特別支援教育の研修を実施していく。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○全職員における特別支援教育に関する研修は大変に重要であると思う。 ○生徒一人一人の支援計画を作成して授業を行っていることが評価できる。 ○発達障害の子どもを持った保護者からの信頼が厚く、指導力があると思う。 ○特別支援学級の先生方は、生徒一人ひとりにとても温かく優しい指導をさせていただいて、明るい雰囲気がとても素晴らしいと思っております。 ○来年度は生徒数を増えるようで、先生方のご負担も多くなれると思いますが、今まで通り温かいご指導をお願い申し上げます。また、先生方のお手伝いができることがあれば、学校応援団等もお声掛けいただいで、ご協力させていただければと思います。 ○交流を重ねている等の情報が一般の保護者にはなかなか周知理解されていないように思う。
	10	学校は、安心安全で機能的な教育環境整備に努めている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ○月1回の安全点検は100%実施でき、危険箇所、修繕の必要な箇所の把握を行うことができた。修繕箇所については業者対応、教頭、担当での対応等、時間をかけずにすぐに対応できていた。 ○今後、安全教育に関しては、小学校との交流活動を通して学習していく。 ○日程の関係で週3回実施していた清掃を週4回実施し、環境整備に努める。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○教育環境の整備が非常に適切に行われている。 ○定期的に安全点検を実施していることが評価できる。 ○環境整備に努めているのがうかがえる。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	学校関係者評価委員会の説明
家庭・地域との連携	11	学校は開かれた学校づくりを目指し、家庭・地域社会に積極的に情報提供を行っている。 (市共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページの更新が定期的に行われていることは評価できる。今後も新しい校務支援システムの中で月1回の更新を継続し、充実したものにしてい ○不審者情報、防犯に関する情報等をメールを活用し、家庭に提供できている。 ○ホームページに載せる写真、文章については該当学年及び管理職が丁寧に確認する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページが定期的に更新できていることは素晴らしい。今後、地域への情報発信は大変に重要なことと言える。 ○ホームページの開設と定期的な情報更新を評価できる。 ○学校運営協議会の方へは学校だより等をいただけ、様子を伺えますが、学校応援団の皆様へも「メール登録」をしていただき、情報をいただけたら有難く思う部分もあります。ご検討をお願いできればと思っております。 ○ホームページや閲覧板(地域)、またメール等で発信しているのは良い。
	12	学校は、積極的に地域の人材を教育活動に活用し、家庭・地域と連携し子どもの問題解決を図っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○図書ボランティアの方が定期的に来校され、図書室の整理、掲示物づくり等行っていただいた。また水泳及び調理実習の授業において、「おかあさんの会」のメンバーの方が来校され、水泳の実技補助、調理補助を行っていただく等、学校応援団の活用が進んでいる。 ○今後、総合の学習等で地域の人材の活用を進めていく。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○学校応援団の活用や、地域の方々の活用は、積極的に行っていく必要がある。 ○地域人材を授業や諸活動に活用していることが評価できる。 ○学校応援団が機能し、教育活動の一助となったのなら幸いです。
小中一貫教育	13	学校は、小中一貫教育の視点にたった教育活動を推進している。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○小中連絡会は定期的に行われている。しかし内容としてはそれぞれの取り組みを紹介する程度に留まってしまっている。今後は中学校側から、「生徒指導関係」や「各教科」について授業の流れや決まりを紹介し、共通認識をもてるよう進めていくことが重要である。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○小中連絡会を定期的に開催していることが評価できる。 ○コロナ禍で、思うように小中の交流が図られなかったと思いますが、これからも子ども達の不安を解消するために、情報を共有していただきたいと思えます。 ○小中で子どもたちの実態把握等の情報共有をし、フィードバックするという流れが多岐にわたると良い。
各種行事	14	各行事がそれぞれの目的達成のために充実した取組になっている。 (桜中項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> ○各行事の実施要項の中にその目的を明示し、共通認識をもった上で実施することができた。 ○各行事において、生徒個人の伸長、リーダーの育成等の目的をはっきりとさせるとともに、振り返りを行い、充実した行事にしていく。 ○行事検討委員会を開催し、各学年においてバランスよく実施できるように時期についての検討を行っている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○各学校行事が、生徒個人の成長や、リーダーの育成をめざし実施されることは大変に大切なことであると思う。 ○各学年行事が目的達成のために充実していることが評価できる。 ○子ども達の自主性を大切にしながら、行事運営をしていると思えます。 ○生徒一人ひとりが目的をもち、そのために充実した日々となっているのは良い。振り返ることでおのこ成長につながる。
健康体力活動	15	生徒の健康の保持増進、個性の伸長が行われている。 (桜中項目)	A	<ul style="list-style-type: none"> ○「健康の保持増進」では運動が苦手な生徒も長距離走に前向きに取り組んでいることは評価できる。 ○食育プログラムをしっかりと実施できている。給食において、食品ロスの観点から残食への取組等、給食委員会を含め、指導していく。 ○部活動の朝練習がなくなるなど活動時間が少なくなる中、効率的な活動が求められる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の健康の保持増進のための、様々な取組が行われている。 ○体力向上の取組が定期的実施されていることが評価できる。 ○体力測定の結果から、運動能力や体力の向上が図られていると思えます。
教職員の資質向上	16	教職員が研修に取り組み、資質の向上を図っている。 (桜中項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> ○計画的に「学びづくり」研修会を実施することができた。 ○今後、「研修の目的」を精選、明確化させ、全職員が正しく把握したうえで研修を行うことが重要である。 ○次年度は講師を招いての「学びづくり研修」を年2回実施していく。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○教員は人として、指導者として、ともに学ぶ者として常に研修が必要である。 ○定期的に「学びづくり」研修を実施していることが評価できる。 ○子ども達が楽しく授業を受けている状態が感じ取られ、先生方の発言しやすい雰囲気づくりが、その基になっていると感じます。 ○校長先生、教頭先生をはじめ、先生方が心から生徒たちのことを思い、考えてご指導くださっている桜中はとても素晴らしい学校だと嬉しく思うと同時に心より感謝申し上げます。残業の部分はとても気になりますが、今後とも、今のままの素晴らしい桜中でいていただけますよう、お願い申し上げます。